

Moto へ

この場を借りてこれまで 20 年にわたり学生の受け入れをさせていただいたことに対して、あなたと三浦教育振興財団に感謝を申し上げたいと思います。私は奨学生の皆さんのカナダのおばあちゃんのような気持ちであります。

私たちはこれまで我が家で生徒さんたちを受け入れるときには、私たちカナダ人の日々の生活における料理や食事そして娯楽などを彼等に体験してもらうよう努めてきました。そして、それは本当に楽しいことでした。彼等の意見や考え方を聞き、ひとりひとりを知ることにより多くの時間を割いてきたように思います。それから、一緒にカヌーで川下りをしたり、馬場へ行ったり、先住民のインディアン保護区等にいったりもしましたね。もちろんショッピングにも！

私たちの家に滞在した生徒さんたちは皆、礼儀正しく、色んなお手伝いもしてくれました。彼等は楽しんで積極的に英語を話し、常に学ぼうとする熱意が感じられました。

生徒さん達が帰国の際バスに乗り込む瞬間はいつも、とても悲しい気持ちになったものです。しかし、彼等がたくさんのことを学び吸収してくれたことを、そして、それは三浦教育振興財団のサポートがあり、あなた自身やスタッフの費やした多くの時間があったからこそ実現できたのだということを私達はよく理解しております。

さて、ポールと私は 80 歳という 若さ(-_-;) に手が届こうとしていて、ホストとしてはそろそろ引退の時期がやってきたようです。

でも、何かあった時にはいつでも声をかけてくださいね。ご協力は惜しみません。

最後に、私たちの人生をより豊かなものにしてくれてありがとう。

マリリン・ウィルソン